



学校だより 3月

平成31年2月28日 横浜市立芹が谷南小学校

次代への歩み

学校長 高木 篤子

3月に入ると登校日数は、卒業まで14日、進級まで16日。学校では、卒業式の歌が聞こえはじめる中、中学校や、幼稚園・保育園等と連携を図りながら、入学や進学準備を行っています。徐々に暖かくなり、桜の花がまちを彩る季節を迎える頃、子どもたちは新たなステップへ進みます。

桜といえば、毎年、春に淡い緑から桜色に変わる本校の御衣黄桜を見ることを楽しみにしていた方もいらっしゃると思います。残念ながら、その木は昨年9月末に台風の影響で倒れてしまいました。

しかし、数年後、次代の御衣黄桜を見ることができます。話は一昨年の冬に遡りますが、御衣黄桜の木が老朽化していることを職員が心配し、副校長が樹木医へ連絡をとって対応を相談しました。幹へ手当てをするとともに、30～40本の枝を「日本花の会農場」に送り、苗木作りを依頼しました。それから約1年後の昨年11月、苗木として育った4本が学校に戻ってきました。今、校門の近くに白い柵で囲い、1mくらいの苗木を育てています。多くの方に見ていただけるように、正門側だけでなく裏門横にも植えました。寒さの厳しい日に風に耐えながら立っている苗木に、がんばれと思わず声をかけたくくなります。

ここ数日で、苗木から小さな芽が膨らんできました。もう少し気温が上がると、葉が出るのでしょうか。今は細い苗木を見ながら、何年後かに幹が太くなり、葉が茂り、花が咲く姿を思い浮かべています。子どもたちの成長のように、一日一日を積み重ねて、大きく花開く日が来ることでしょう。

まもなく、小学校生活を終えて中学校へ進む6年生。入学を心待ちにしている新1年生。進級への思いを高めている1～5年生。これまでの日々の歩みを糧に、さらなる歩みを重ねながら、次代に向かって前進してほしいと思います。

成長の過程で、多くの方々に支えられて温かさを感じながら、時には風雨に向かっていきながら、しっかりと土台を作り、健やかに体と心を育み、一人一人が自分らしく花を開くことを期待しています。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様に本校の教育活動へご理解・ご協力いただきましたことお礼申し上げます。

これからも、次代を担う子どもたちを共に育てていただきますようお願い申し上げます。

